

「学校自慢プロジェクト」  
～子どもたちに自信を 教員に誇りを 学校に活力を～

- 1 学校名（児童生徒数 教職員数）  
神栖市立軽野東小学校（児童数286名 教職員数 22名）
- 2 教育活動内容 (1)交流活動 (2)ボランティア活動 (3)国際教育の充実
- 3 教育活動名 きずなづくり活動
- 4 教科・領域等 総合的な学習の時間 生活科 学級活動 学校行事
- 5 実施時期 通年（4月～3月）
- 6 およその継続年数 5年
- 7 概要（アピールポイント）
  - (1) 交流活動
    - ① 地域との連携…学校における学習活動，安全確保，環境整備などのボランティアとして企業や保護者，地域住民の協力をいただき，学校・家庭・地域が一体となった児童の育成を推進する。
    - ② 地域と連携した防災力強化…小中連携学区での合同引渡訓練，防災訓練，防災教室
  - (2) ボランティア活動
    - ① 自主的な活動…「わたしの行動宣言」「保健目標」読書活動（ブックママの活用）。
    - ② 環境整備…花や作物を栽培（「花いっぱい運動」）
  - (3) 国際教育の充実
    - ① 世界のあいさつ…在籍外国人児童の母国語を中心に，いろいろな国のあいさつを朝の会，帰りの会に位置付け実施する。
    - ② 世界の国々の紹介…なかよし集会（全校児童集会）では，外国籍児童やALTによる自国紹介する。
- 8 具体的な活動内容
  - (1) 交流活動
    - ① 地域との連携
      - ・地域企業との連携
      - ・PTAとの連携
      - ・シニアクラブとの交流
      - ・近隣企業と保護者，自警団，教員合同による交通安全指導（毎日実施）
      - ・感謝の会（学年末に実施）
    - ② 異年齢集団による交流
      - ・交流給食
      - ・縦割り班活動
      - ・保幼小中での交流
  - (2) ボランティア活動
    - ① 朝や休み時間の自主的な奉仕活動
    - ② 環境整備「花いっぱい運動」
  - (3) 国際教育の充実
    - ① 世界のあいさつ（朝の会，帰りの会，児童集会で実施）
    - ② 世界の国々の紹介（1回／2月）
- 9 成果
  - 保護者や地域の方（企業，自警団）との連携により，安全に生活することができた。
  - 防災教室では，6年生児童が止血・骨折対処・心肺蘇生・担架づくり等を学び，下級生や保護者等へ伝えることにより，知識の定着した。また，伝える活動により，表現力や児童の主体性が育った。
  - 異学年交流やボランティア活動により，他の人や物を思いやる心が育ち，きずなづくりを推進することができた。今年度は特に，保幼小の交流の充実を図り，低学年でも思いやりの心が育ち，きずなづくりを推進することができた。
  - ブックママの活用により，読書活動が充実しつつあり，読書数が前年度より増えてきた。
  - 他国のあいさつを知り，児童朝会や朝・帰りの会で実践したことで，自国文化だけでなく異国文化の理解を深めることができた。
  - 植物を育てること（花いっぱい運動）を通して，豊かな感性や勤労の尊さを育むことができた。
- 10 課題
  - 異文化理解としてのあいさつは，児童の中に受け入れられてきたが，通常のあいさつは，十分なものとは言い難く，地域の方への感謝を表す意味でも，きちんとあいさつができるようにしていく必要がある。
  - 地域との連携には，交流活動計画の調整等に時間を要する。そのため，企業やシニアクラブ等地域の教育力を十分活用するためには，先を見越した早めの計画，連絡調整を心掛ける必要がある。
  - 花いっぱい運動も，苗からではなく種から育てることも考えたい。